



ふるさとも、  
幼なじみも、  
大連市場の  
にぎわいも、  
おとうさんの  
記憶からは  
消えませんでした。

企画展 おとうさんの絵本

# “大連のうた” 原画展

2018年 2019年  
10月30日 四 — 2月2日 田

前期：10月30日 - 12月16日 後期：12月18日 - 2月2日

開館時間 / 9:30 ~ 17:30 (入館は17:00まで)

休館日 / 月曜日 (祝日または振替休日の場合はその翌日)、12月28日 - 1月4日

平和祈念展示資料館 (総務省委託) 入館無料

新宿住友ビル33階 (東京都新宿区西新宿2-6-1) Tel: 03-5323-8709 <http://www.heiwakinen.jp>

わが子  
におくった

企画展

# おとうさんの絵本 “大連のうた”原画展

「おとうさんは中国で生まれたのに、どうして中国人じゃないの？」  
わが子からのこの問いに、どうやって向きあえばいいのだろうか。  
小学校一年生の息子に、海外からの引揚者であるわたしの歴史を、  
言葉で説明しても伝わらない。しかも、写真一枚すらない失われた  
ふるさとのことを。

それでも、子どものまなざしと問いかけからは、逃げたくはない。  
どうすれば、わたしは子どもに体験を伝えられるのだろうか。  
そうだ、わたしがまず絵を描いて、奥さんにうたを添えてもらおう。

本企画展では、このようにして親から子におくられた、川崎忠昭  
『おとうさんの絵本 大連のうた』の原画32点をご紹介します。  
この絵本は、無邪気な子どもの眼からみた、大連における日本人  
や中国人の暮らしと、それが戦争や敗戦によって壊されていく  
哀しみを映し出します。幼い記憶だけをたよりに再現したふるさと。  
そこには、戦争体験を伝えたいという想いが込められています。  
戦争も引揚げも知らない子どもに、そして、かつて子どもだった  
すべての大人に。

<作者／川崎忠昭プロフィール>

1932年：中国の遼東半島の大連に生まれ、幼い日を過ごす。

1947年：敗戦後、15歳で母と姉と共に熊本県に引き揚げる。

大学卒業後は、商業デザイナーとして活躍する。

1978年：『お父さんの絵本 大連のうた』出版。

1979年：47歳で逝去。



アカシヤ並木



女ロシヤ兵

けんかこおろぎ



さよなら大連

## 企画展関連イベント (参加無料・予約不要)

### ■ギャラリートーク①

学芸員が、企画展の見どころや展示資料のエピソードを解説します。  
日時：11月4日(日)、1月13日(日) いずれも13:00~(約40分)

### ■ギャラリートーク②

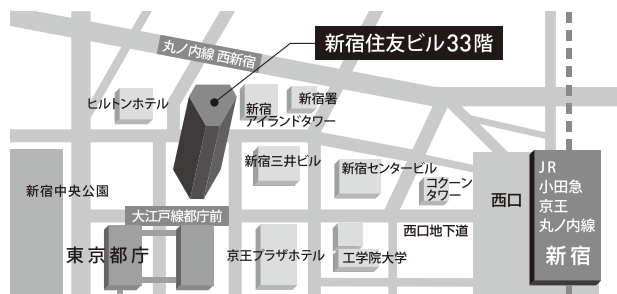
学芸員による展示解説の後で、川崎キヌ子さん(忠昭さんの奥様、  
和洋女子大学名誉教授)を迎えて、『おとうさんの絵本』が生まれた  
プロセスや、作者のエピソードを伺います。  
日時：12月8日(土)、1月26日(土) いずれも13:00~(約60分)

### ■引揚体験者による語り部お話し会

日時：11月18日(日)、12月16日(日)、1月20日(日)  
いずれも14:00~(約60分)

### ■一人語り「来なかったサンタクロース」

出演：三咲順子(女優、音楽家) 原作：増田昭一  
日時：12月9日(日) 14:00~(約40分)



- 都営大江戸線(都庁前)駅より徒歩約3分
- 東京メトロ丸ノ内線(西新宿)駅より徒歩約7分
- JR線、小田急線、京王線(新宿)駅西口より徒歩約10分